



# 2017年9月期 第2四半期 決算補足説明資料

2017年5月10日 株式会社フィックスターズ（東証一部3687）



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があります。あることをご承知おきください。

1. 2017年9月期 第2四半期決算説明
2. 2017年9月期 通期業績予想

1. 2017年9月期 第2四半期決算説明
2. 2017年9月期 通期業績予想

業績

■ 売上、利益ともに上期予算を順調に達成

売上高： 2,123百万円 (対予算比 +2.7%)

営業利益： 382百万円 (対予算比 +1.4%)

■ 1Q末に仕掛計上されていた案件が予定通り進行し売上計上

セグメント

ソフトウェア  
・  
サービス

■ フラッシュメモリ関連サービスが安定して業績に寄与

■ レベニューシェア等新規ビジネス形態の案件が複数進行

■ フラッシュメモリ関連を中心に旺盛な引き合いがあるも社員採用に苦戦。採用活動により多くのリソースをシフトし、優秀なエンジニア獲得に注力

ハードウェア  
基盤

■ 画像処理プロセッサ搭載演算ボードが期初予想より上振れ

■ ものづくりとITの融合をめざす業界団体“IVI (Industrial Value Chain Initiative)”向けの大容量高速ストレージ・サーバ“Olive”が追加検証フェーズに移行



# 2017年9月期 第2四半期 決算概要：損益計算書

売上、利益ともに上期予算を順調に達成  
 開発体制変更に伴うカナダ子会社（当社孫会社）閉鎖のため、  
 評価損 2百万円を特別損失として計上

(単位：百万円)

項目	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	通期業績予想
売上高	2,081	2,123	+41	+2.0%	4,400
営業利益	396	382	▲13	▲3.5%	800
売上高 営業利益率	19.1%	18.0%	▲1.0%	-	18.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	270	258	▲12	▲4.5%	529
売上高 当期純利益率	13.0%	12.2%	▲0.8%	-	12.0%



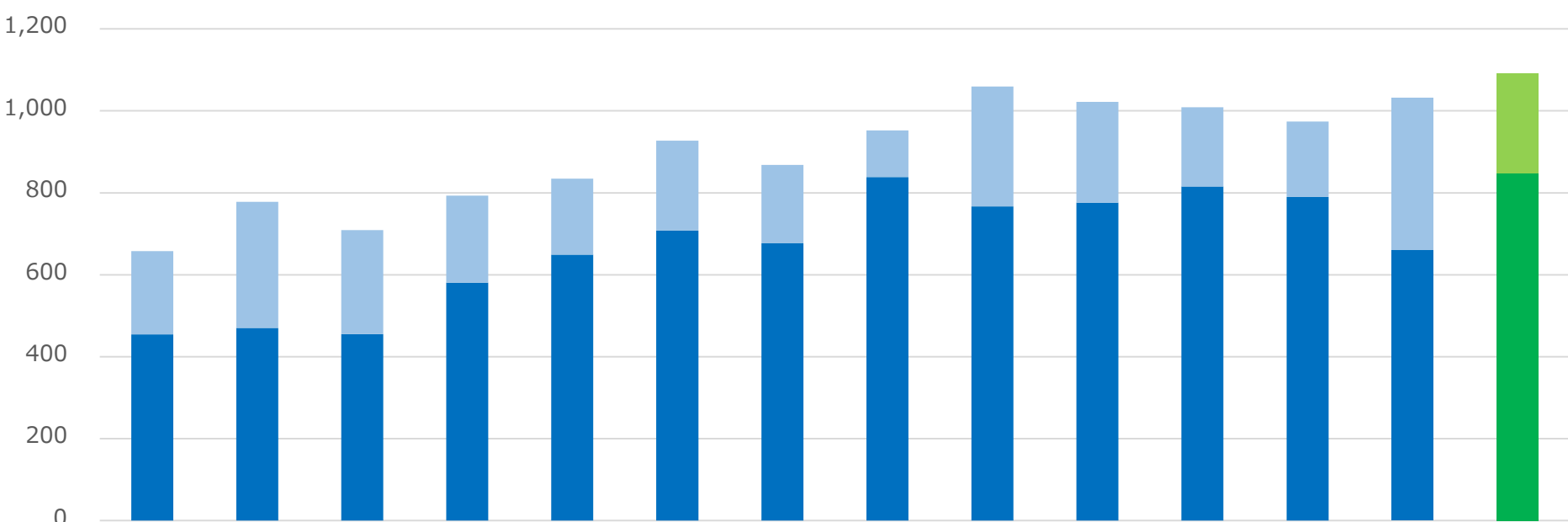
# 業績：売上高

第2四半期累計：2,123百万円（前年同期比 +2.0%）

1Q末に仕掛計上されていた案件が予定通り進行し売上計上

## 四半期売上高の推移

（単位：百万円）



	FY2014				FY2015				FY2016				FY2017	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
ハードウェア	202	307	253	212	185	219	191	113	292	246	193	183	370	243
ソフトウェア	454	470	455	580	649	707	676	838	766	776	815	790	661	846
合計	657	778	708	793	834	927	868	952	1,059	1,022	1,008	973	1,032	1,090



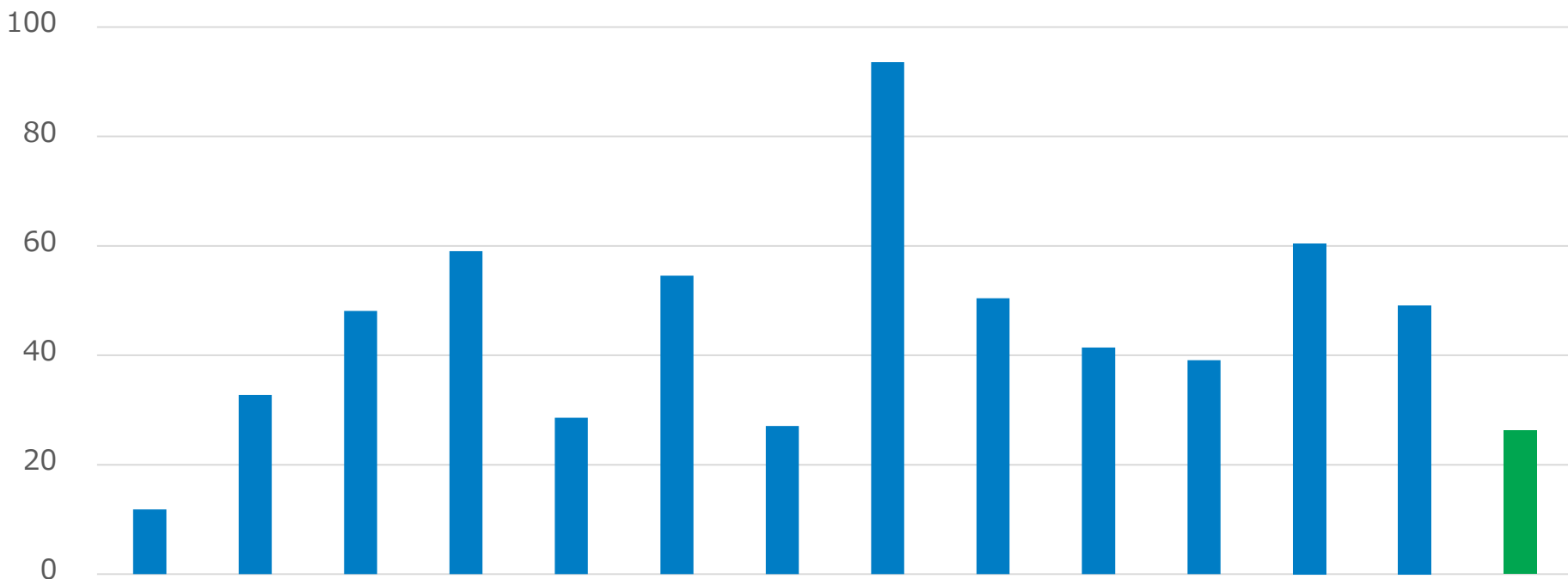
# 業績：研究開発費

第2四半期累計：75百万円（前年同期比 ▲18.0%）

人件費を中心に大容量高速ストレージ・サーバや機械学習関連に投資

## 四半期研究開発費の推移

（単位：百万円）



	FY2014				FY2015				FY2016				FY2017	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
研究開発費	11	32	48	59	28	54	27	93	50	41	39	60	49	26



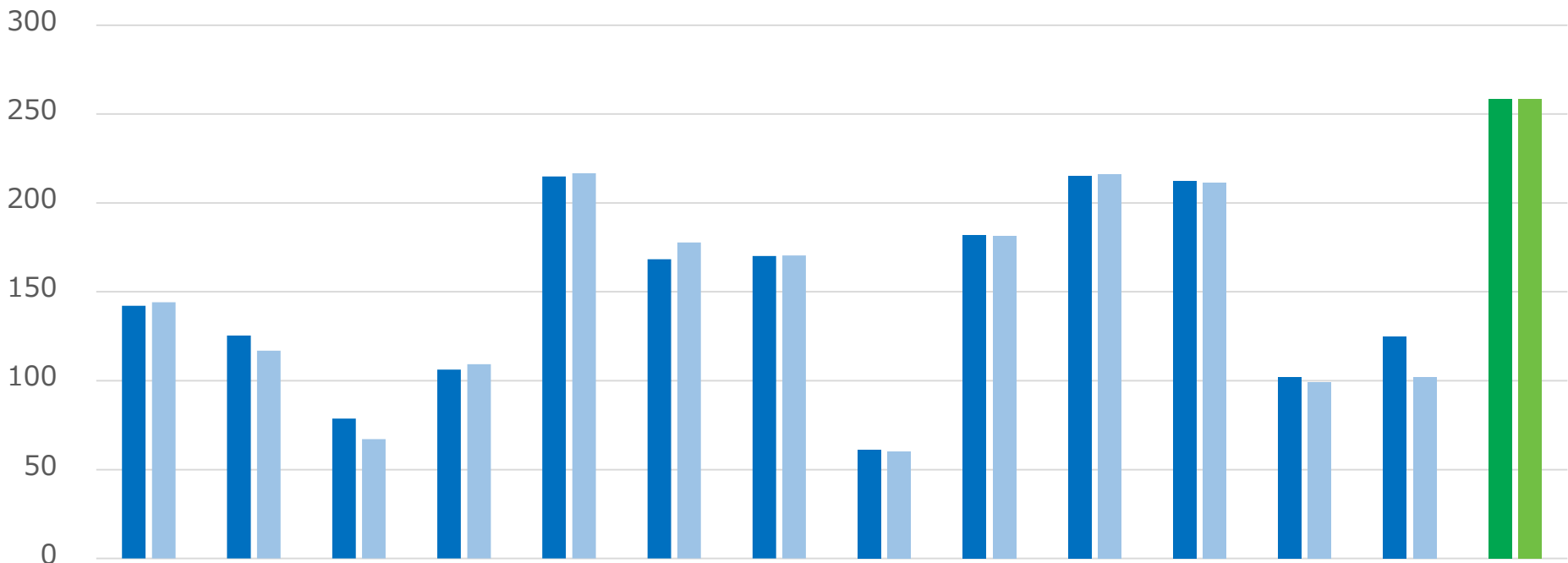


# 業績：営業利益・経常利益

利益率の高いソフトウェア・サービス事業の割合増加により粗利率改善  
研究開発費を中心に一過性の費用が減少し営業利益率も改善

## 四半期利益の推移

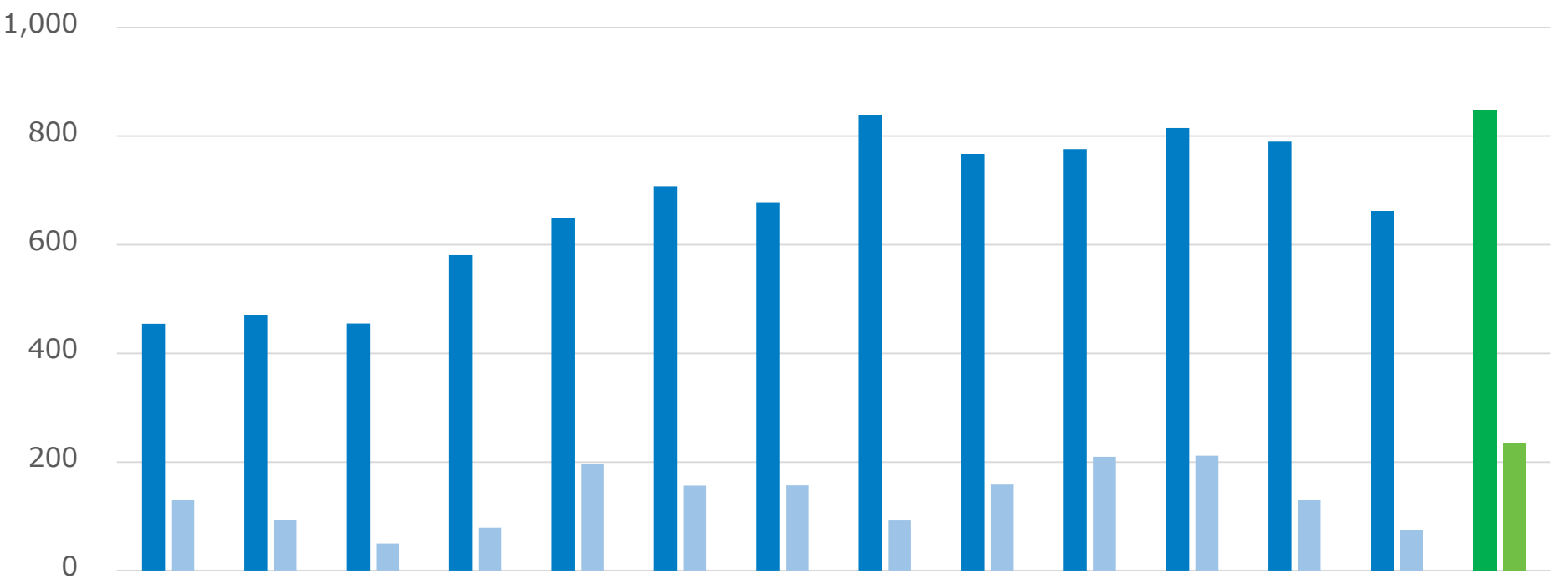
(単位：百万円)



第2四半期売上高累計：1,508百万円、 利益累計：307百万円  
 1Q末に仕掛計上されていた案件が予定通り進行し売上計上

## 業績の推移

(単位：百万円)



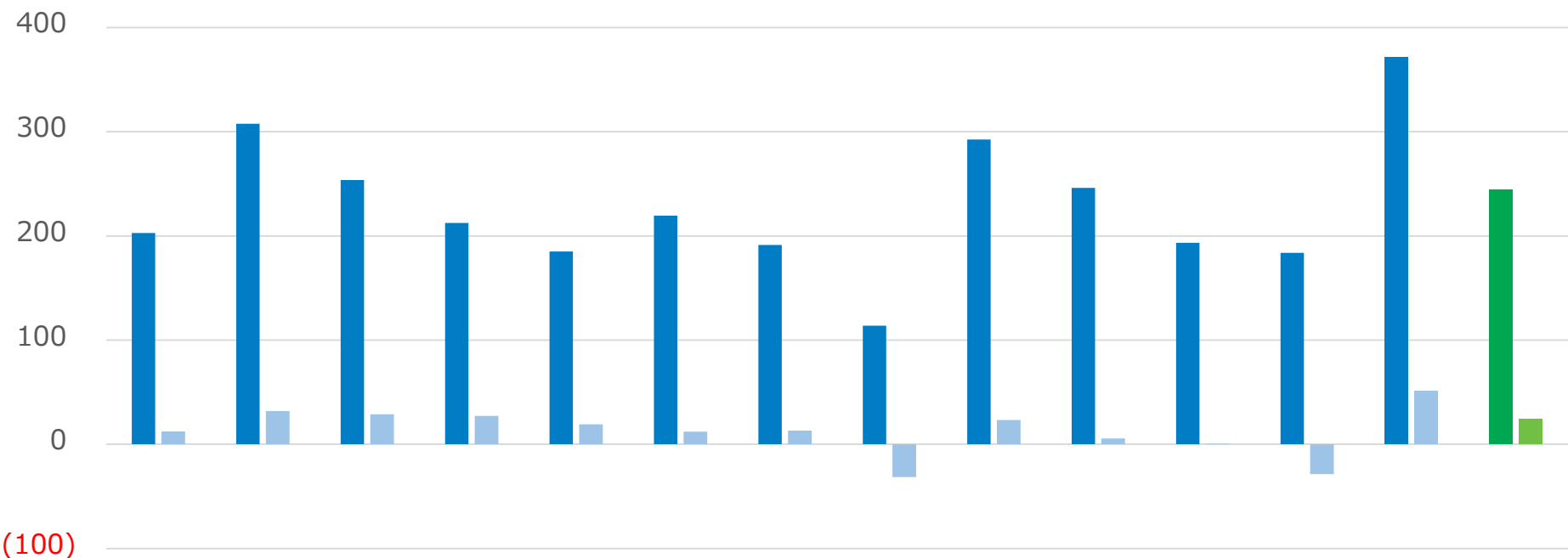
	FY2014				FY2015				FY2016				FY2017	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	454	470	455	580	649	707	676	838	766	776	815	790	661	846
利益	130	93	49	79	195	156	157	92	158	209	211	130	73	234

# 業績：ハードウェア基盤事業

第2四半期売上高累計：614百万円、利益累計：74百万円  
 画像処理プロセッサ搭載演算ボードが期初想定よりも上振れ

## 業績の推移

(単位：百万円)



	FY2014				FY2015				FY2016				FY2017	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	202	307	253	212	185	219	191	113	292	246	193	183	370	243
利益	12	31	28	27	19	12	13	▲31	23	5	0	▲28	50	24

# 既存事業：高速化ソリューションの拡がり

自動運転を中心にアルゴリズム開発等の研究開発フェーズの案件が増加  
ハードウェア提供も含めたトータルソリューション案件も進行

## 当社の提供ソリューション

サービス工程に応じた収益モデル

- アルゴリズム等の共同開発
- ボトルネック特定やハードウェア選定等のコンサルティング
- ソフトウェア最適化

顧客製品の出荷数等に応じた収益モデル

- コンピュータ部材の提供
- ソフトウェアライブラリの販売、保守

研究

製品開発

製品量産・販売

顧客の製品フェーズ



# 新規事業の進捗：大容量高速ストレージ・サーバ事業

業界団体IVI (Industrial Value Chain Initiative)参画企業を主な対象として、特定の産業機器向けソリューションの構築、実証実験が進行

## ターゲット

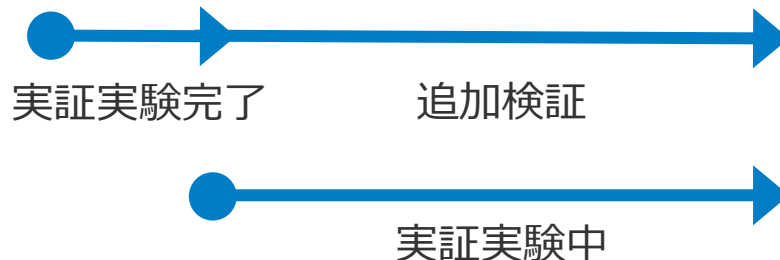
## 進捗

先行顧客

- 工場で行われる加工プロセス・機器ごとに実証実験を開始

溶接

切断

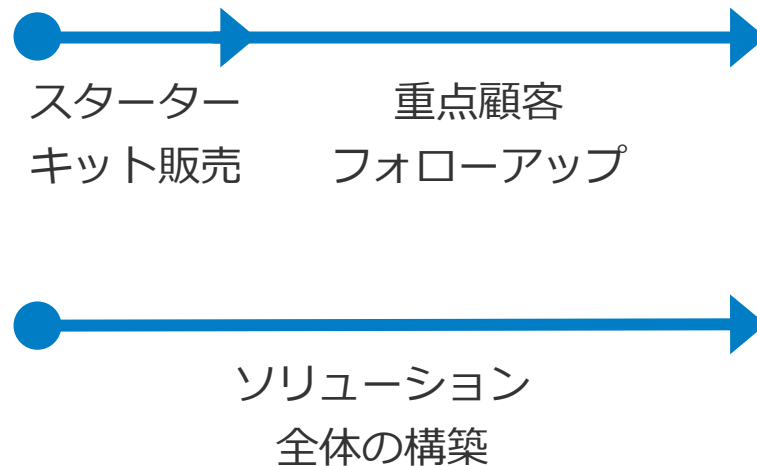


更なる拡販

- IVI参画企業を中心にスターターキットを販売
- 並行して商社等他社と協業し、エッジコンピューティング全体のソリューションとしての販売を模索

スターターキット

ソリューション



# 新規事業の進捗：新たなビジネス形態の確立へ

通信、小売、金融等の各分野で大量データ処理の高速化を支援  
レベニューシェア等新しいビジネス形態の案件が複数進行

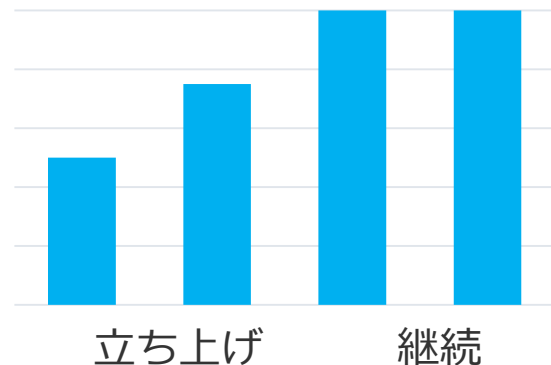
## 対象分野



## 提供ソリューション



## 収益モデル



- 大量データの高速処理が迅速かつ正確な経営判断につながる分野
- システム開発に多大な時間とコストがかかっている分野

- 基幹バッチ処理向け並列分散処理基盤“M3 for BP”
- 子会社アイ・イー・テックの提供する自動不具合推定ソフトウェア

- 顧客が当該ソリューションを利用している期間中、継続的にレベニューシェアやサブスクリプションフィーが発生

1. 2017年9月期 第2四半期決算説明
2. 2017年9月期 通期業績予想

## 業績

- 売上、利益ともに**過去最高**の予想  
売上高： **4,400百万円** (前期比 **+8.3%**)  
営業利益： **800百万円** (前期比 **+12.6%**)
- 既存事業による安定成長を実現しつつ、新規事業への積極投資を継続

## セグメント

## ソフトウェア・サービス

- 旺盛な引き合いがあるも社員採用に苦戦。採用活動により多くのリソースをシフトし、優秀なエンジニア獲得に注力
- 高速化サービスで培った知見を活かし、レベニューシェア等、ストック型ビジネスモデルの確立を狙う

## ハードウェア基盤

- 医療機器向け画像処理プロセッサ搭載演算ボードが堅調
- 業界団体“IVI”向け実証実験を進め、大容量高速ストレージ・サーバの国内製造業での大量採用を狙う
- 製造業向けトータルソリューション案件が進行





## 2017年9月期 業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2017年9月期 業績予想	4,400	800	785	529
2016年9月期 実績	4,063	710	707	516
増減率	+8.3%	+12.6%	+11.0%	+2.7%

## 配当予想

	1株当たり 年間配当金	1株当たり 当期純利益	配当性向
2017年9月期 予想	23円	78円95銭	29.1%
2016年9月期 実績	23円	77円33銭	29.9%
2015年9月期 実績	20円	68円32銭	29.6%



ソフトウェア技術を通じて  
全社員の幸福および全てのお客様の成功を追求し、  
フィックスターズの技術を活かして  
全世界のしあわせ向上に貢献すること

ありがとうございました